



# 平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月7日

上場会社名 株式会社 エーアイティー  
 コード番号 9381 URL <http://www.ait-jp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司

TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成29年7月18日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	6,011	18.6	385	17.5	412	17.9	282	27.8
29年2月期第1四半期	5,069	0.1	328	7.1	349	7.3	221	9.8

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 227百万円 (48.5%) 29年2月期第1四半期 153百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	14.80	
29年2月期第1四半期	11.58	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	7,073	5,036	70.7
29年2月期	6,802	5,066	74.3

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 4,998百万円 29年2月期 5,055百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		15.00		15.00	30.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,150	10.0	660	3.1	700	0.5	480	2.3	25.11
通期	23,830	12.1	1,580	13.5	1,640	12.2	1,120	14.1	58.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) AITC LOGISTICS  
(VIETNAM) CO.,LTD. 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年2月期1Q	19,754,400 株	29年2月期	19,754,400 株
期末自己株式数	640,789 株	29年2月期	640,768 株
期中平均株式数(四半期累計)	19,113,620 株	29年2月期1Q	19,113,632 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も徐々に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題や米国の新政権の政策等、海外経済の不確実性の高まりによる国内景気への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、得意とするアパレルや日用雑貨を主に取扱う企業への営業活動を始めとし、強化ポイントとして掲げる化学品や自動車部品関連の企業への営業活動も精力的に行ってまいりました。

これらの営業活動で新規顧客の獲得と既存顧客の取引拡大を図るとともに、主力となる国際貨物輸送や通関、配送、及び国内外での3PL（サードパーティー・ロジスティクス）案件といった一貫輸送の提案型営業を強化し、収益の拡大に取り組んでまいりました。

また、昨年8月に設立した米国の現地法人も営業を開始し、さらに国際貨物輸送の更なるサービス拡充を図るため、本年1月に台湾現地法人、4月にはベトナムに合弁会社を設立いたしました。

従来からの取り組みの強化により、前年同期と比較して国際貨物輸送の取扱高は堅調に増加しましたが、海外から日本への輸入海上運賃の値上げにより仕入コストが増加したことで、売上総利益率が低下することとなりました。しかし一方では、販売費及び一般管理費の抑制等に取り組むことで、安定した利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は6,011百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益385百万円（前年同期比17.5%増）、経常利益412百万円（前年同期比17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益282百万円（前年同期比27.8%増）といずれも前年同期を上回ることとなりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、前第3四半期連結会計期間において、米国における子会社（AIT International of America, Inc.）、前第4四半期連結会計期間において、台湾における子会社（台湾愛意特国際物流股份有限公司）、及び当第1四半期連結会計期間において、ベトナムにおける合弁子会社（AITC LOGISTICS (VIETNAM) CO., LTD.）の設立に伴い、「その他」を追加してそれぞれの子会社を含めております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### ①日本

当第1四半期連結累計期間では、一貫輸送の営業強化が奏功し、特に海上輸入貨物の取扱い、及び通関受注が堅調に推移いたしました。その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で51,000TEU（前年同期比21.1%増）、輸出入合計で53,104TEU（前年同期比20.8%増）、通関受注件数は21,778件（前年同期比28.5%増）と前年同期を上回ることとなりました。

以上のことから、日本における営業収益は5,062百万円（前年同期比22.6%増）、セグメント利益は295百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

#### ②中国

日本向け貨物の増加により、中国国内での通関や配送等といった輸送に関連する収益は増加することとなりましたが、人民元安の影響から円貨換算額が減少したこともあり、営業収益は927百万円（前年同期比0.3%増）と前年同期とほぼ同水準となりました。一方で販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、セグメント利益は103百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

#### ③タイ

日本向け貨物は増加基調にありますが、その絶対量が少ないことから、営業収益は18百万円（前年同期比23.2%増）となり、一方で営業活動における費用が高んだ結果、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

#### ④その他

昨年9月に米国子会社の設立手続きが完了し、営業を開始してまだ間もなく、営業収益への貢献は僅かに留まり、また台湾子会社及びベトナム合弁子会社は、開業に向けての準備段階であったことから営業収益への貢献はなく、営業収益は2百万円、セグメント損失は10百万円となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ270百万円増加し7,073百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が191百万円、立替金が36百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し2,037百万円となりました。これは、買掛金が194百万円、未払法人税等が36百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し5,036百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益282百万円を計上した一方で、剰余金の配当により286百万円、為替換算調整勘定が53百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月11日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,242,410	4,241,185
受取手形及び売掛金	1,414,247	1,605,962
立替金	711,905	748,569
その他	132,248	162,567
貸倒引当金	△15,548	△17,475
流動資産合計	6,485,264	6,740,809
固定資産		
有形固定資産	41,054	40,669
無形固定資産	67,010	61,123
投資その他の資産		
投資有価証券	2,864	3,064
差入保証金	201,976	210,124
その他	5,094	17,937
貸倒引当金	△394	△481
投資その他の資産合計	209,541	230,645
固定資産合計	317,606	332,437
資産合計	6,802,871	7,073,247
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	843,748	1,038,745
未払法人税等	162,136	199,096
賞与引当金	63,917	59,155
役員賞与引当金	15,300	4,549
その他	277,036	385,396
流動負債合計	1,362,138	1,686,942
固定負債		
退職給付に係る負債	240,930	246,368
役員退職慰労引当金	62,080	65,684
その他	71,578	38,107
固定負債合計	374,588	350,159
負債合計	1,736,726	2,037,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,412,781	4,408,952
自己株式	△67,928	△67,949
株主資本合計	4,837,583	4,833,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	139
繰延ヘッジ損益	△179	-
為替換算調整勘定	218,104	164,350
その他の包括利益累計額合計	217,924	164,489
非支配株主持分	10,636	37,921
純資産合計	5,066,144	5,036,145
負債純資産合計	6,802,871	7,073,247

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
営業収益		
輸送事業収入	5,069,429	6,011,106
営業収益合計	5,069,429	6,011,106
営業原価		
輸送事業仕入	3,854,394	4,673,411
営業原価合計	3,854,394	4,673,411
売上総利益	1,215,035	1,337,695
販売費及び一般管理費	886,792	951,903
営業利益	328,242	385,792
営業外収益		
受取利息	3,590	4,102
受取配当金	-	29
為替差益	11,924	12,593
その他	5,770	12,230
営業外収益合計	21,285	28,955
営業外費用		
支払利息	19	-
会員権退会損	-	2,700
営業外費用合計	19	2,700
経常利益	349,509	412,047
特別損失		
固定資産除却損	42	86
特別損失合計	42	86
税金等調整前四半期純利益	349,467	411,961
法人税、住民税及び事業税	113,416	189,316
法人税等調整額	16,319	△58,712
法人税等合計	129,736	130,603
四半期純利益	219,730	281,357
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,652	△1,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,382	282,875

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	219,730	281,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△479	139
繰延ヘッジ損益	-	179
為替換算調整勘定	△65,735	△53,702
その他の包括利益合計	△66,215	△53,383
四半期包括利益	153,515	227,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,644	229,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,128	△1,466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	4,129,488	925,065	14,875	5,069,429	—	5,069,429	—	5,069,429
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	25,470	456,200	5,615	487,286	—	487,286	△487,286	—
計	4,154,959	1,381,265	20,490	5,556,715	—	5,556,715	△487,286	5,069,429
セグメント利益 又は損失 (△)	263,610	65,417	△785	328,242	—	328,242	—	328,242

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	5,062,597	927,669	18,325	6,008,592	2,514	6,011,106	—	6,011,106
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	20,429	561,475	6,643	588,548	9,131	597,679	△597,679	—
計	5,083,026	1,489,145	24,968	6,597,140	11,645	6,608,786	△597,679	6,011,106
セグメント利益 又は損失 (△)	295,543	103,313	△2,889	395,967	△10,175	385,792	—	385,792

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾及びベトナムの現地法人です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、米国における子会社(AIT International of America, Inc.)、前第4四半期連結会計期間において、台湾における子会社(台湾愛意特国際物流股份有限公司)、及び当第1四半期連結会計期間において、ベトナムにおける合弁子会社(AITC LOGISTICS (VIETNAM) CO., LTD.)の設立に伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。